



影響ではないでしょうか？
復興庁は「風評被害を払拭」といいながら、自然界に元からある放射線と核分裂によって生じる放射線を同列に並べ、危険がないかのように私たちを騙^{だま}そうとしているのです。

また、十三ページでは



「どれくらいの量なら健康に影響があるの？」という問いに「一〇〇〜二〇〇ミリシートの被ばくでの発がんリスクの増加は、野菜不足や塩分の取りすぎと同じくらい」と答えています。

野菜不足や塩分の取りすぎで癌になりますか？

百歩譲ってガンの遠因の一つになるとして（ほんとはどうか知らないけど）、福島原発事故以前は年間一ミリシートの被ばくが基準です。それが事故が起きたために基準を緩め、福島原発事故による被災地は年間二〇ミリシートの被ばくが基準になっています。赤ん坊も含め、子どもから大人まで放射線管理区域（食事や会話も睡眠も禁止の場所）と同等的年間二〇ミリシートの被ばくでの生活を強要されているのです。そして一〇〇ミリシート以下の健康被害は切り捨てようとしてくれています。

また、二五ページでは「ふるさとに帰った人たちにも日常の暮らしが戻りつつあります」と書いています。

福島県では未だに五万人近い人々が避難生活を余儀なくされています。

やむなく移住した人も多数いますが、「区域外避難者」は統計から除外されています。この破廉恥な「放射線のホント」撤回運動が起っています。先日は署名にご協力いただき感謝です。

※この記事を読んで、まだの方は「『放射線のホント』撤回署名」とネットで検索してください。

アート・アド分会 N